

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bei&bpi(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ライオンズ茨木ニューシティB街区新築	階数	地上14F
建設地	大阪府茨木市庄1丁目347番1の一	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	916 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年2月 予定	評価の実施日	2014年6月18日
敷地面積	6,051 m ²	作成者	長谷工コーポレーション 中村浩二
建築面積	2,151 m ²	確認日	2014年7月1日
延床面積	19,440 m ²	確認者	長谷工コーポレーション 中村浩二



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 73%
③上記+②以外の 73%
④上記+ 73%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 本件はA・B・C街区全体計画の中のⅡ期に当たり、街の中心となる建物になる。A街区に続き潤いのある地域環境創りに配慮し設計を行った。		注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する環境配慮を簡潔に記載してください。 室内環境の向上を目指し、F☆☆☆☆建材を使用している。	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 バリヤフリーに配慮し、人にやさしい建物とした。	Q3 室外環境(敷地内) 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 沿道緑化に努め、潤いのある地域環境創りに配慮した。
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 全戸2方向以上外皮に面する計画とし、有効な採光・通風が確保できる計画としている。	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 有害物質を含まない建材種別を採用している。	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ディスポーザーを採用し、廃棄物処理抑制を図っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	ライオンズ茨木ニューシティ B街区新築工事		
	建設地	茨木市市庄1丁目347番1の一部		
	用途/区分	集合住宅		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			4
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			2
	エネルギー消費量の報告			対象外

【評価項目】					
省エネルギー対策		① CO2削減			
		② 省エネ対策			
	項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価		4.0	4
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.0 住戸・宿泊 3.0	3	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			3.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			4.9
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			—
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			2.2
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策			
	項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価		1.0	2
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価		3.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価		3.0	
その他					
先進的技術の導入	技術の名称		考慮事項		
特に配慮した事項					